

### 事例3 概略 お囃子の学習を通したリコーダーを用いた音楽づくりの事例

第3学年 A表現(3)音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)、B鑑賞ア、イ  
 児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

【音色、リズム、速度、旋律、拍】

1 題材名 ちいきにつたわる音楽でつながろう (5時間扱い)

#### 2 題材の目標

- (1) 日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりに気付き、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付ける。<知識及び技能>
- (2) 日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり、旋律のつなげ方による感じの違いに着目したりして、即興的に旋律のつなげ方を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもったりする。<思考力、判断力、表現力等>
- (3) 祭り囃子を聴いたり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、郷土に伝わる音楽や楽器に親しむ。<学びに向かう力、人間性等>



#### 3 教材について

- (1) 「祇園囃子」京都府 (締太鼓、能管、鉦)
- (2) 「ねぶた囃子」青森県 (桶胴太鼓、篠笛、鉦)
- (3) 「神田囃子」東京都 (長胴太鼓、締太鼓、篠笛、鉦)
- (4) ラドレの音でせんりつづくり

#### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①知日本の楽器の音色や響きの特徴、リズムと曲想の関わりに気付いている。(鑑賞)	思①音色やリズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴きとったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)	態①お囃子で使われる楽器の音色やリズムの特徴などと曲想との関わりに興味をもち、郷土に伝わる音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取って聴く活動に進んで取り組もうとしている。(鑑賞)
②知締太鼓の音色やリズム、速度と曲想との関わりについて気付いている。(鑑賞)	思②旋律や拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、即興的に音やフレーズのつなげ方を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。(音楽づくり)	態②お囃子の旋律づくりに興味をもち、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律をつくる活動に、主体的・協働的に取り組もうとしている。(音楽づくり)
③知技音のつなげ方によって旋律の特徴や感じが変わる面白さに気付き、三つの音とリズムを使って、即興的に音を選んで表現する技能を身に付けてつくっている。(音楽づくり)		

5 指導と評価の計画（全5時間のうち、音楽づくりとして取り扱うのは4、5時）

時	◆ねらい ○学習内容・学習活動 ◎指導上の留意点	知技	思	態
1 ・ 2 ・ 3	<p>1次◆日本の楽器の音色やリズム、速さなどに注目しながら郷土に伝わる音楽を聴いたり、お囃子の雰囲気を感じながら唱歌を歌ったり太鼓を演奏したりする。</p> <p>○音色やリズムに気を付けて2つのお囃子を聴き比べ、音楽の特徴や雰囲気を感じ取り、祭り囃子に親しむ。</p> <p>○音色や速さ、リズムに気を付けてお囃子を聴き、お囃子の特徴や曲想の変化を感じ取る。</p> <p>○締太鼓と長胴太鼓を打ち、演奏方法や音色を知り、和楽器に親しむ。</p>	<p>① ② 知 観 察 ・ 発 言 ・ 記 述</p>	<p>① 観 察 ・ 記 述</p>	<p>① 観 察 ・ 聴 取 ・</p>
4 本 時	<p>2次◆三つの音でお囃子の旋律を即興的に作り、つくった旋律をつなげて楽しむ。</p> <p>○ラ・ド・レの三つの音で旋律遊びをする。 ・ラ・ド・レの三つの音と「せんりつをつくるリズム」を使い、旋律をつくる。 ・数名の児童に教師役を担当させ、同じように模奏させる。</p> <p>◎ラ・ド・レのカードを掲示し、その都度動かしながら、視覚的にも旋律を捉えられるようにする。 ・教師の範奏に続いて、リコーダーで模奏する。 ・前時で演奏した太鼓のリズムを伴奏として流す。</p>  <p>○三つの音で旋律をつくる。 ◎リコーダーで何度も演奏し、試しながら気に入った旋律をつくれるようにする。</p>  <p>◎つくった旋律は、ワークシートの裏にメモさせる。 ・つくった旋律の音をワークシートに記入する。 ・つくった旋律を五線等を書く。 ・つくった旋律を発表する。</p> <p>◎旋律をカードにすることで、次時では操作しながらつなぎ方を工夫したりできるようにする。（2枚作成）</p> <p>◎ペアで発表させてから、全体の前で数名の児童に発表させるようにする。 ◎音の組み合わせ方によってどんな風に関心が変わるか意見を出し合う。</p>	<p>④ 知 技 記 述 ・ 聴 取</p>		
5	<p>○つくった旋律をリレーして楽しむ。</p> <p>◎つなぎ方について、いくつかの例を示し、選択の幅を広げられるようにする。 ・前時につくった旋律を演奏する。</p> <p>◎前時に作成した旋律カード（2枚）を並べ替えながら順番をいろいろ試して演奏させることで、工夫の仕方によって音楽の感じが変わることを理解できるようにする。 ・始めは、ペアでつなげて、次は4～5人のグループでつなげる。 ・グループでつなげた旋律を発表する。</p> <p>◎グループの演奏をICT端末で録画し、自分達の演奏を客観的に聴き、工夫につなげる。</p> <p>◎繰り返しなど音楽の仕組みを使っていた場合は、全体で確認する。 ◎第3時で行った和太鼓を伴奏として加える。</p>		<p>② 観 察 ・ 聴 取 ・ 記 述</p>	<p>② 観 察 ・ 聴 取 ・ 記 述</p>